

1 教科等名 総合的な学習の時間

2 単元名 セカンドスクールで体験しよう・思い出を伝え

3 (1) 武蔵野市民科で育成する主な資質・能力 **協働 社会参画** 3 (2) 詳細項目 地域や社会的課題などへの理解 目標達成に向けた他者との協力

よりよい生活を協力して築こうとする態度

4 単元の目標

○知識・技能の習得	①長期の宿泊による生活時間を利用し、生活上の自立に必要な知識・技能を身に付ける。 ②自然の中で豊かな体験活動を通して、南魚沼の自然や暮らしの工夫に関する知識を身に付ける。
○思考力・判断力・表現力等の育成	①南魚沼の自然や地域の特性について自ら課題をもち、主体的に課題を追究する力を育てる。 ②南魚沼の歴史や文化に触れ、引き継がれてきた地域の良さや人々の努力に気づき、進んで表現しようとする力を育てる。
○学びに向かう力・人間性等の涵養	①地域の人々との交流を通して、人間関係を深めるとともに、それらの人々や保護者に対する感謝の念を育てる。 ②自主的な集団生活を通して、児童理解や協力し合う態度を育成する。

5 単元計画

ねらい	時数	主な学習活動	関連教科 関連団体(連絡先等)
訪問先のまちの様子や活動内容を知り、自分の課題を設定する。	1	○前年度の活動の様子や現地の様子を写真で知り、自分達の活動への意欲をもたせるとともに、活動を具体的にイメージする。 ○各学級、もしくは各班で、どのようなセカンドスクールにしたいか、意見を出し合い、生活面の約束と班の目標を決める。	特別活動
南魚沼の気候、自然や産業について、知りたいことを見付け、調べ学習を行うことで、自分達の地域との違いに気付く。	4	○自然、産業、歴史など、自分が調べたいテーマを決めて、調べ学習を行う。情報収集の仕方や整理の仕方を学び、分かりやすくまとめる方法を知る。 ○まとめた資料と4年生のときに学習した武蔵野市の特色とを比較する。 ○それぞれがまとめた資料を共有し、学級全体で南魚沼の特色を知る。	社会
セカンドスクールでの取組をとおして、自分の課題を解決し、南魚沼の特色を学ぶ。	34	○稲刈り体験、農業体験、機織り体験などの活動をとおして、南魚沼の良さや人々の努力を知り、自分の課題を解決する。 ○南魚沼の地域の方々との交流や、友達同士の中を深めることをとおして、よりよい人間関係を築こうとする気持ちをもつ。	訪問先の観光協会や宿舎等
セカンドスクールで学んだことや解決した課題について整理し、同じ課題のグループごとに、まとめる。	6	○自分の課題をどのように解決したのかを、学習の記録やしおりのメモなどから整理をする。事前学習で学んだ情報の整理の仕方を生かしてまとめる。 ○同じ課題をもつ児童でグループを作り、どのように伝えるかを話し合い、発表の準備をする。	社会
セカンドスクールで学んだことや解決した課題について、自分達の思い出を伝える。	2	○写真やプレゼンテーションソフトなどを活用し、発表の仕方を工夫する。 ○南魚沼の特色やみんなで協力することの大切さなど、自分達が学んだことを自分達の言葉で伝える。	社会
合計時数			47 時間

6 指導上の工夫 (①課題設定→②情報収集→③整理・分析→④発信・実行のサイクルが実現する工夫や手だて等)

○情報収集や整理の仕方では、様々なチャート図の活用方法について指導する。調べたことをただ写すのではなく、自分の課題や伝えたいことにそってまとめるようにする。 ○明確な課題をもってセカンドスクールの活動に取り組めるように、調べ学習では分からなかったことや実際に行って確認したいことなど、自分が解決したい課題を設定させる。活動中の学習の記録も、自分の課題について具体的な記録をするように指導する。 ○友達と協力することの大切さや様々な人達と関わることで人間関係を広げるよさを実感できるように、宿での生活をとおして感じたこと、学んだことを振り返り、学年、学級で共有する時間をとる。
---

7 単元の振り返り

成果(児童・生徒の変容等)	課題	改善策
学習においては、自分で調べたいことを事前に決め、実際に見学したり、体験したりする活動を通して、インターネットの情報だけでは感じることはできないこともあることを知った。そのことによって、実際に取り組んでみたり、現地に行き、自分の目で見たことへの意欲や態度が高まった。	セカンドスクールで学んだ自主的な集団生活を通して、児童理解や協力し合う態度を育成することはできたが、学校生活の中で生かし切れていないことがある。	セカンドスクールの中で学んだ集団生活の中で大切なことを振り返るだけでなく、学んだことを教室内に掲示することで、セカンドスクールが終わっても、意識して生活を送れるようにする。